

(学位第9号様式)

No. 1

最終試験結果の要旨	
学位申請者 氏名	馬 麗坤
審査委員	主査 鹿児島大学 教授 坂井教郎
	副査 鹿児島大学 教授 豊智行
	副査 琉球大学 教授 内藤重之
	副査 鹿児島大学 教授 李哉茲
	副査 佐賀大学 准教授 辻一成
審査協力者	
実施年月日	令和6年1月26日
試験方法 (該当のものを○で囲むこと。) <input checked="" type="radio"/> 口答 <input type="radio"/> 筆答	
<p>主査及び副査は、令和6年1月26日の公開審査会において学位申請者に対して、学位申請論文の内容について説明を求め、関連事項について試問を行った。具体的には別紙のような質疑応答がなされ、いずれも満足できる回答を得ることができた。</p> <p>以上の結果から、審査委員会は申請者が博士(農学)の学位を受けるに必要な十分の学力ならびに識見を有すると認めた。</p>	

学位申請者 氏 名	馬 麗 坤
<p>[質問 1] 中国では、卸売市場と国営青果物市場とがあるが、両者の違いは何か？</p> <p>[回答 1] 卸売市場は民間が開設したものであり、国営青果物市場は国が開設した市場である。卸売市場は青果物だけでなく、食肉や衣服など色々な日用品も含めた卸売を行っている。国営青果物市場では、国が青果物の価格も設定する特殊な市場である。</p> <p>[質問 2] 原料いちごの取引単価は、「市場価格を参考に決定」とあるが、ここで言う市場価格は、近隣の卸売市場価格を指すのか？</p> <p>[回答 2] 近隣市場ではなく、市の卸売市場の価格が参考価格になる。</p> <p>[質問 3] 卸売市場での原料いちごの規格はどのようになっているのか？また、契約取引での規格の扱いはどうか？</p> <p>[回答 3] 中国の卸売市場ではいちごの規格については特に定められていない。高級品については通常、卸売市場では扱われず、主に契約で取引される。契約取引では、契約前に規格が定められ、基準以下の原料については安価で取引される。</p> <p>[質問 4] 栽培基地のいちごは品質にかかわらず同一価格で取引されるのか？</p> <p>[回答 4] そのとおりである。栽培基地の価格は、市場価格を参考に決定され、規格・品質は考慮されない。そのため、加工企業によっては品質に不満を持つ場合もある。</p> <p>[質問 5] 小規模加工企業は、なぜネット販売への転換で原料生産者との契約取引を解除するのか？またなぜ小規模加工企業はルール遵守性が低いのか？</p> <p>[回答 5] 小規模企業はネット販売に転換したが、ネット販売は販売量が不安定であるため、契約どおりの原料調達ができなくなった。原料生産農家から見ればそれは契約を遵守できなくなったと映ることになる。</p> <p>[質問 6] 原料生産農家は販売先によって3区分されているが、複数の販売先がある場合もあるのではないかとある場合はどう区分するのか？</p> <p>[回答 6] 複数の販売先を持つ農家も存在する。その場合は、主な販売先によって区分した。</p>	

[質問 7] 中規模企業の原料調達価格は 3 元/kg 前後、小規模企業は 7 元/kg 前後で推移している。なぜ企業間でこうした大きな価格差が生ずるのか？

[回答 7] 中国では物価上昇が大きく、中規模企業の原料価格はやや長い期間の動きを見ているため、物価変動を調整した実質価格で示している。他方、小規模企業の価格は名目値である。そのためにこのような価格差が生じているが、博士論文ではその点を記述するか、価格の表記を統一したい。

[質問 8] 小規模企業分析の衰退メカニズムの仮説で、「小規模加工企業にとっての原料の契約取引の価格面でのメリットが小さくなった」としているが、価格だけでは判断できないのではないか？価格と費用との関係で検討する必要があるのではないか？

[回答 8] 正確には、価格と製造費用を把握し、利益との関係で加工企業のメリットを検討する必要がある。しかしこの研究では各企業の加工品の製造費用については把握できていないため、原料単価を費用の代理変数として議論を行う形をとっている。

[質問 9] 契約後の中規模加工企業は農家と直接、取引をしているにも関わらず、加工用いちごのサプライチェーンを示した図では、原料取引に集荷業者が仲介しているように見えるのはなぜか？

[回答 9] 農家と中規模加工企業は直接取引をしているが、原料の集荷については、加工企業の社員が行う場合と、そうではない場合がある。後者では加工企業は業者に料金を支払って集荷を委託している。

[質問 10] 技術力の低い小規模加工企業は契約を解除し、品質の低い原料を調達するようになっているが、その場合、加工品の品質が低下するので、販売面でのダメージとなるのではないか？

[回答 10] 二次加工場の加工品の品質基準は非常に厳しく、低品質の場合は価格が大幅に低下するが、ネットで購入する一般消費者は二次加工場ほど厳しくなく、原料の品質が低くても価格低下にはつながっていない。また原料品質が低いといっても相対的なもので、粗悪品であるわけではない。